



介護者体験談

介護者懇談会から、お二人の体験談

Aさんの話

認知症の主人の父を19年介護して来ましたが、いつも、自転車に鍵を掛けていたのですが、かけ忘れた日にいなくなっちゃったんです。7時頃です。お巡りさんに言ったら「奥さん、だめだよ。見張つてなきゃ」って言われて。家庭内だと対処できるけどこんなふうになっちゃうと。電話番号置いて、探し回ったのですが、夜、7時半頃、熊谷の酒屋さんから電話があり「荒川の日暮里に行くにはどうやって行くんですか」って、おじいちゃんが行って聞いたそうなんです。

「何で来たの。電車？車？」「自転車」

その奥さんがびっくりして、ポケットに入れて置いた名刺を見て電話をくれました。自転車で、熊谷まで行っただけです。若い時に中山道をリヤカーを引いていったから、道を知っていたみたいですね。迎えに行き、顔を見るまでは気が気ではなかったです。会ったら「どちらさん」と言われて。でも、名刺をポケットに入れていて良かったです。お風呂も嫌いだったので、主人と息

子と三人掛りを入れてました。お財布（千円札と百円玉を何枚か入った）をお風呂に持って入るので、私がお札をいつも伸ばして干しました。住所氏名電話番号書いたのを服に縫いつけるとお風呂に入るとき「これは誰がやったんだ」「私」と言うと、びりびりに破いて。何十回もやられました。

足立区の施設に1ヶ月預かってもらって、面会に行き、楽しそうにしている丈夫だなと思ったのですが、帰りにサヨナラした時、ドアの鍵が本人が手が届かない高い所に付けてありました。上に付けていけば出て行かない。事故が起きないようになんでしょう。本人は何とも思っていないでしょうが、それを見たら家族としてはとてもショックでした。

◇Bさんの話

「あと半年です」って、お医者さんは簡単に言うけど、先生の話はそっちに置いて半分しか聴かない。先生は、診察しているその時しかみてないけど家族は四六時中見ている。我々の苦しみを判ってない。入院中に階段を歩かせると頭に刺激になるだろうと思っただけで歩かせたら、看護婦さんに見つかった。入院して怪我したら病院の責任になるから困ると言われた。責任は問わないので伝えた。足腰が丈夫になると脳が活性化するんですよ。

特養に入所している家族に早く良くなつて帰ろう。歩こうと言うんですが、その時はそう本人が思っても車イスにでんと座っている。家族が行って（リハビリ）やらなくちゃいけないのかなと思うけど。でもそうすると、リハビリ目的の施設ではないから、家族がしゃばつてやると職員がやりづらいのかなど。気を使いますよね。足を鍛えると違うんですがね。

リハビリ専門の病院入れなくちゃいけないのかなと思いますが。病人に合う施設を探しておかないと。施設選ぶ時は、そこで働いている人の気持ちや勉強してか、行き届いているところ探さないと。予備知識ないと。しかし、そうなった時には、それどころではない。こういう場合に出て自分で探さないと自分で勉強して思考錯誤しないと介護は難しい。まかり間違えると相手を傷つけてしまう。介護は難しい。

介護されている方、介護を卒業された方の懇談会は、共有している悩みや思いに共感し、時折笑いも起きていました。

家族が認知症になったら、どこ施設が良いのか。施設の設備は見学でわかりませんが、一番大切なそこで働く人の気持ちや能力は見えない所です。大切な家族を守るには、情報が必要ですね。